

事業名 三条市通学合宿事業

趣 旨 子どもたちが本事業を通して自分や家族を見つめ直し、自立（律）心や感謝の心を養うとともに、基本的な生活習慣や協調性といった社会性を身に付ける。また、地域の大人や学生らと交流し、異世代からの学びの場とする。

実施主体 三条市公民館

参加対象 第1班：嵐北地区小学校6年生児童
第2班：下田地区小学校5・6年生児童
第3班：嵐南地区及び栄地区小学校6年生児童

参加者数 第1班：26人
第2班：19人
第3班：18人

回数 3回 **日 数** 各5日（各4泊5日）

場 所 第1班：グリーンスポーツセンター
第2班：よってげ邸
第3班：グリーンスポーツセンター

内 容

回	期 日	講師等
	第1班：平成19年10月16日（火）～20日（土）4泊5日 第2班：平成19年10月23日（火）～27日（土）4泊5日 第3班：平成19年11月13日（火）～17日（土）4泊5日	新潟経営大学学生、新潟短期大学学生、食生活改善推進委員、健康推進員ほか
1	内容・方法	平成13年度から下田地区で取り組んでいる「通学合宿事業」（主催：下田公民館）については、子どもたちが学校生活を含む日常生活の中で、家庭を離れ、同世代と集団生活を送りながら様々な体験（学習・食事・洗濯・清掃等）を自主的・主体的・共同的に行うことで、子ども自身や家庭・地域の教育力の向上につながり、よい教育効果をあげていると考えているため、この事業を三条地区、栄地区にも広げ、市全体として取り組み実施した。

成 果

- ・ 他小学校の児童の参加により、同世代と集団生活や様々な体験を通して、学校を越えて心のふれあいや交流が図られた。また、子どもたちと関わった学生ボランティアや食生活改善推進委員、健康推進員など世代を越えた新しい輪が広がった。
- ・ 子どもたちは、自立での生活、共同生活を通じて、様々な混乱や困難に直面したが、自分自身で考え行動し、友だちと協力しながら乗り越えていく中で、やり遂げることを実感するとともに、人間関係を深めることに喜びを感じることができたようだ。
- ・ 普段、家事について子どもたちは参加することが少なく、参加した児童の家庭からは、食事づくりや掃除など積極的に手伝いをしてくれるようになったという声が上がっている。

課 題

- ・ 三条地区と栄地区では初めての取り組みであり、基本的なスケジュール表により実施したが、特に食事づくりの時間が足りなかったことにより、後のスケジュールに影響がでてしまった。もっと余裕をもったスケジュールと内容を検討する必要がある。
- ・ 期間中の児童の安全を考慮し、学校への送迎はマイクロバスや市有車で行っているが、今回は4～5小学校の参加児童であったため対応できたが、今後、参加する小学校の児童が増えた場合の対応について、検討しなければならない。
- ・ 学校・地域・家庭の連携の重要性を改めて考える場とすることで実施したが、学校からは協力をいただいたものの、一部の学校の意見として、特に価値がない、学校生活に支障をきたしたなど「通学合宿事業」に反対する意見があった。

問合せ先 三条市中央公民館（担当 長橋勝芳）
TEL：0256-32-4811